2026年3月期 第1四半期

# 決算説明資料

2025年8月8日

エンシュウ株式会社

(東証スタンダード 6218)



# INDEX

- 1. 連結業績サマリー
- 2. 部品加工事業
- 3. 工作機械事業
- 4. 構造改革進捗
- 5. 財務状況
- 6. 配当予想
- 7. 参考情報

#### 将来見通しに関する注意事項及び免責事項

本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

また、本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。



# 1. 連結業績サマリー:第1四半期連結業績

2025年度 決 算 要 旨

### 第1四半期実績(構造改革効果により黒字化)

- ・構造改革の効果や原価低減により両部門ともに収益大幅改善
- ・営業利益・経常利益・当期純利益ともに黒字化を達成

#### 2025年度通期業績予想

- ・売上高は減少も工作機械・構造改革と部品加工・コストダウン効果により黒字化を見込む
- ・工作機械は米国関税の影響による自動車業界における投資・開発計画の停滞を見込む

	(単位:百万円)		2024年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	2024年度 通期実績	通期業績予想 5/15公表	
売	上高		5,437	4,852	21,886	20,000	
	部品加工事業		2,913	3,191	11,945	11,900	
	工作機械事業		2,506	1,643	9,869	8,000	
営	業 利 (営業利益率)	益	△301 (△5.5%)	<b>29</b> (0.6%)	△ <b>705</b> (△3.2%)	450 (2.2%)	
	部品加工事業		15 (0.5%)	143 (4.5%)	371 (3.1%)	500 (4.2%)	
	工作機械事業		∆328 (∆13.1%)	△127 (△7.7%)	△1,126 (△11.4%)	△100 (△1.3%)	
経	常利	益	∆322	18	△943	150	
当	期純利	益	∆326	106	△2,261	100	
	為替レート (USD/ (EUR/		153 165	146 162	153 164	135 156	



# 2. 部品加工事業:連結売上高 · 営業利益

#### 第1四半期実績

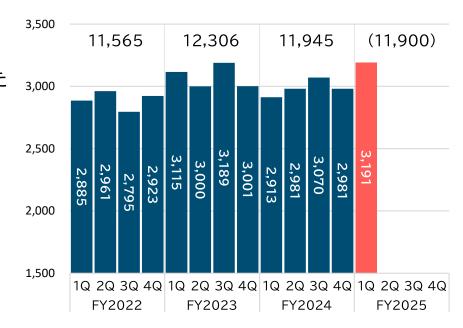
# 二輪・船外機等の仕事量増加により増収増益

- ・既存部品の仕事量増加に加え、前期・当期で新規に立ち上げた EV、船外機関連の生産ライン本格稼働により増収増益
- ・原価低減活動の効果もあり収益改善

#### 通期業績予想

# 2Q以降売上減少するも増益予想

- ・2Q以降は客先の生産停滞を見込むも、新規部品本格稼働 およびコストダウン施策により、売上・利益確保を見込む
- ・中期的な売上拡大に向けて新規取り込みを推進



(光伏·天下四)				2024年度	2025年度	前年同期比		
(単位:百万円)				第1四半期	第1四半期	増減額	増減率	
売	Ŧ	=	高	2,913	3,191	+277	+9.5%	
営	業	利	益	15	143	+128	+830.9%	
営業利益率			<b></b>	0.5%	4.5%	+4.0pt	_	

2024年度 通期実績	通期業績予想 5/15公表
11,945	11,900
371	500
3.1%	4.2%



# 3. 工作機械事業:連結売上高 · 営業利益

#### 第1四半期実績

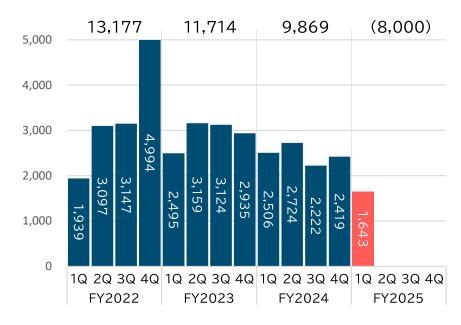
# 構造改革効果により損益改善(赤字幅縮小)

- ・前期より取り組んでいる構造改革施策による固定費削減効果 により収益改善し赤字幅縮小
- ・ 共同開発型の新事業案件は着実に売上増加

#### 通期業績予想

### 前期比減収予想も赤字大幅縮小を見込む

- ・売上変動に合わせた、構造改革を実施し損益改善
- ・内燃機関設備の改造および保守サービスに注力し収益確保
- ・新事業案件を中心に営業活動を続け、投資環境の良化に備える



(単位:百万円)		2024年度	2025年度	前年同期比		2024£		
	(甲位・)	3万円)		第1四半期	第1四半期	増減額	増減率	通期実
売	Ŧ	Ξ.	高	2,506	1,643	∆863	∆34.4%	9,
営	業	利	益	∆328	∆127	+201	_	△1,
1	営業系	刂益፯	<b>率</b>	∆13.1%	△7.7%	+5.4pt	_	△11

2024年度 通期実績	通期業績予想 5/15公表
9,869	8,000
∆1,126	∆100
△11.4%	△1.3%



# 3. 工作機械事業:地域別連結売上高

#### 第1四半期実績

### 国内外で新事業案件の売上増加

・国内:レーザー加工機等の新事業案件は売上拡大

改造および保守サービスに注力

・北米:共同開発型システム案件等により売上増

・アジア(インド):前期大型案件売上による反動減

#### 通期業績予想

### 2Q以降も新事業の売上拡大を見込む

・国内:医療業界向け専用機が売上伸長

自動車メーカー向けレーザー加工機も売上増加 システム落ち込むも、改造・サービスに注力

・海外:関税リスク等で停滞気味、米・印の復調に向け営業

活動を継続

・アジア(中・印):受注済システム案件が下期に売上予定

()///	2024年度	2025年度	前年同期比			
(単位:百万円)	第1四半期 	第1四半期	増減額	増減率		
売 上 高	2,506	1,643	∆862	∆34.4%		
国 内 売 上	1,103	832	∆270	△24.5%		
海外売上	1,403	811	△592	△42.2%		
ア・ジ・ア	1,110	257	∆853	△76.8%		
北 米	165	468	+303	+183.7%		
欧州	128	86	∆42	∆33.0%		

2024年度 通期実績	通期業績予想 5/15公表
9,869	8,000
4,403	3,630
5,467	4,370
2,715	2,250
2,277	1,860
474	260



# 3. 受注状況:工作機械事業 連結受注高推移

### 前期比減少も新事業領域の受注が着実に増加

- ・第1四半期実績:国内自動車メーカーとの共同開発型案件を受注
- ・通期見通:新事業領域における引合が増加しており、既存領域と合わせ通期71億円の受注を目指す

	2024年度	2025年度	前期比	2025年度	【参考】日工会受注推移		
(単位:百万円)	第1四半期	第1四半期 増減率		通期目標	(単位:百万円)	2025年度 第1四半期	増減率
受注高総額	1,958	1,629	∆16.8%	7,100	受 注 高 総 額	392,095	+3.4%
国内受注高	841	651	∆22.6%	2,800	国内受注高	107,264	△4.2%
海 外 受 注 高	1,117	978	∆12.4%	4,300	海外受注高	284,831	+6.6%
受 注 残 高	5,014	2,699	_	1,818	自動車(国内)	16,973	∆34.2%

※集計期間:本社·子会社(日·印):4月~6月、子会社(日·印除<):1月~3月



4. 構造改革進捗:黒字化に向けた両事業の取組状況

# 部品加工事業

### 売上拡大に向けた新規生産案件の取り込み

2024年度: EV関連部品の新規ライン立ち上げ(完了) ※2025年度売上本格化

2025年度:船外機関連部品の新規ライン立ち上げ(完了)

- ・新規案件の取込計画は順調に進んでおり、今後の売上拡大に寄与
- ・生産開始前での課題つぶし込み、ライン別採算管理の徹底によりFS(※)達成を目指す

### 収益力向上に向けた現場主導の改善活動

- ・ライン別/工長別目標管理と改善のCAPD(※)サイクル展開
- ・変化点管理を徹底し、品質ロスのミニマム化・再発防止を図る

※FS:フィージビリティースタディーの略、事業計画・採算計画など

※CAPDサイクル: PDCAの内、まず現状の確認C(チェック)から効率化を始めるマネジメントサイクル



# 4. 構造改革進捗:黒字化に向けた両事業の取組状況

### 工作機械事業

### ①「開発型機械製造業」へのビジネスモデル転換

- ・ 自動車業界に加え、医療業界や半導体分野において成果
  - ★医療業界:歯科加工機 量産開始により順調に受注拡大
  - ★自動車業界:BEVモーター向け自働化対応実証機受注
    - ピストン用レーザー加工専用開発機を受注
  - ★半導体業界:半導体に特化した専用加工機の共同開発、今下期以降の売上を展望

### ②「サービス体制」、「改造案件対応」強化

- ・ ICE(内燃機関)向け設備投資停滞、EV向け設備投資本格化遅れ ⇒ 既存設備への保全サービスと改造ニーズ需要増加
  - ★サービス部門を増強、既存設備の改造対応にも注力し収益確保
- ・ 営業体制を一新し、顧客ニーズをキャッチしていく

#### ③「売上変動に対する構造改革実行」

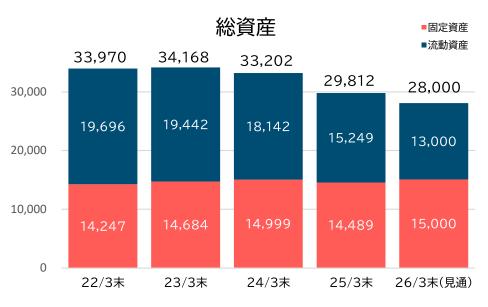
・ 今後も、売上の変動に対してタイムリーに追加の構造改革を実行



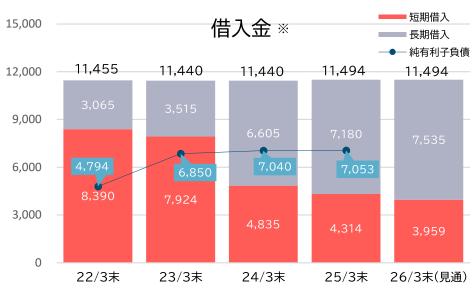
▶医療業界向け 株式会社ジーシー様 Aadva ミル スーペリア

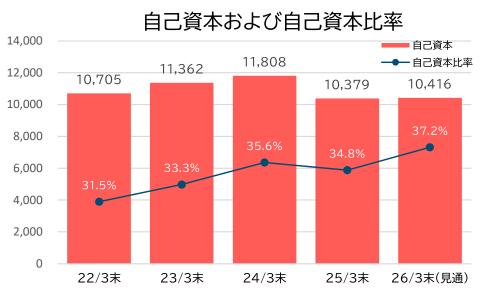


# 5. 財務状況:総資産・借入金・自己資本比率











# 6. 配当予想

### 普通株式に係る年間配当

2026年3月期末配当につきましては、

通期業績予想や安定的な株主還元等を勘案し、1株当たり10円を予想しております。

			普通株式1株	当たり配当金					
	2021年 3月期末	2022年 3月期末	2023年 3月期末	2024年 3月期末	2025年 3月期末	2026年3月期末 予想			
普通配当	円銭 <b>5.00</b>	<sub>円銭</sub> 13.00	円銭 13.00	円銭 13.00	円銭 10.00	円銭 10.00			
配当性向	12.6%	22.1%		37.0%	_	63.1%			
配当利回り	0.51%	1.81%	1.93%	1.89%	2.02%	2.26%			
<ul><li>D O E</li><li>(自己資本配当率)</li></ul>	0.3%	0.8%	0.7%	0.7%	0.6%				
当期純利益	250	370	△104	221	△2,261	100			



# 7. 参考情報:会社概要

商 号 エンシュウ株式会社

証 券 コ ー ド 東証スタンダード 6218

設 立 1920年2月5日

本 社 所 在 地 〒432-8522 静岡県浜松市中央区高塚町4888番地

代 表 者 代表取締役会長 勝倉 宏和

代表取締役社長 鈴木 敦士

資 本 金 46億4,085万円

連結子会社数 10社(海外9社)

従 業 員 数 868名(連結) ※2025年6月末

事業内容 ●工作機械及び部品の製造並びに販売

●二輪車用エンジン・バギー車・雪上車・ゴルフカーマリン及び四輪車の部品加工

決 算 期 3月末

单元株式数 100株